

2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名 [仙台第二中学校] 担当教諭 [竹内 利枝]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数: [3年 選択美術 24名] [年 組 名] [年 組 名]			
実施期間: 2009年 10月 ~ 2010年 3月			
交流: 無・ <input checked="" type="checkbox"/> 国名 [ロシア] 学校名 [educational center No. 1471] 学年 [6-th] 担当教諭 [Olga Prokhorenko 先生]			
実施教科・時数	教科	単元名	時数
アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	選択美術	アートマイルプロジェクトコース	32時間

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	つながる ロシア・モスクワ-日本・仙台
絵に込めたメッセージ	国旗と地元を象徴する宮殿と伊達政宗を描いた地球の上で、生徒一人ひとりの自画像を描き、交互に手をつなぎ合った。背景にロシアと日本の文化や仙台、モスクワの名所などを取り込みながら、この出会いによってお互いの人と文化がつながっていくことを表現した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	10月	・アートマイルプロジェクトについての説明	海外との交流経験者、初めての海外交流とさまざまなメンバーが集まったが、皆、ロシアの仲間と一緒に作品をつくることに大変興味を持っていた。	選択美術
情報収集	10月 11月	・英語で自己紹介カードを作成し、BBS にアップ ・	英語が得意な生徒も、苦手な生徒も、自分について翻訳ソフトを利用しながら、絵や表現を工夫しながら自己紹介カードを作成した。ロシアから返事が来たときは「初めて外国から返事をもらった。」と大喜びだった。	選択美術
テーマ検討	11月	・BBS でテーマの打ち合わせ ・BBS に下イメージスケッチを描いて提案。相手校も同じく BBS にてイメージスケッチを交換。意見を調整して、全体のデザインを再考した。	自分の国や地元のことを盛り込みながら、どう表現するか、皆で話し合いながら、各自がアイデアスケッチを制作し、掲示板にアップした。お互い、英語が得意ではなかったが、絵で表現することによってお互いの意図をくみ取り、使いたいアイデアをミックスしながら、制作を進めることができた。遠くの仲間と一緒に制作を進めることができたことを驚くと共に、充実感を味わっていた。	選択美術
制作	12月 1月	・構図を決め、テーマごとに担当者が中心になって絵を書き進めた	インフルエンザで授業が中止になったり、欠席が続いたり、行事等で授業カットが多くな	選択美術

	2月		ったりしたため、制作が遅れていった。制作は、パートごとに工夫しながら楽しんで制作していた。	
鑑賞	9月 10月	校舎内に作品を展示	作品が戻り、多目的ホールに展示。アイデアはお互いに確認していたものの、自分たちの作品がこんな風に仕上がったのかと、驚きと共に大変うれしがっていた。学習発表会でも、制作中の写真と共に多目的ホールに展示し、家族にも紹介していた。	選択美術

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5：とても身についた 4：身についた 3：どちらともいえない 2：あまり身につかなかった 1：まったく関係

がなかった）

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル		4	始めは英語が苦手…と遠慮がちであったが、返事をもらうと、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度が見られるようになった。
情報活用能力（収集・発信）		4	ロシアや地元の文化を調べたり、プランを交換していく中で自分たちの作品のテーマや内容を決めることができた。
人間関係をつくる（交流相手・学級内）	5	5	選択美術での活動だったが、男女が協力してアイデアを出し合い、また、相手校ともプランを交換しながら交流することができた。
協同作業をする力（役割・段取り）	2	5	プランを出し合い、共同で制作する中で、みんなで一緒に創る楽しさを知り、人間関係も深まった。
異文化の理解	3	5	海外の友人たちと交流を持つことで、外国を身近に感じ、自分たちの文化との類似や相違を意識するようになった。自国の文化が、ロシアでも人気があることを知り、驚いていた。
自文化の理解・自分を見つめる	4	4	外国との交流によって、今まであまり関心を持っていなかった地域のことや自国の文化と外国との類似や相違を意識するようになった。
表現力	1	4	初めての大作に、始めはとまどっていたが、慣れてくると表現方法や絵の具の使い方などを工夫し自分たちの表現を考えるようになった。
学習を追究する意欲		3	インフルエンザの蔓延で学級閉鎖や授業カットがあり、予定外の中止期間があったため、内容を深め、学習を追究する意欲を育むまでには至らなかった。
作品を鑑賞する力		4	自分たちの作品を、ロシアの友人達が仕上げてくれたのを見て、大変喜んでいて。同じ材料・テーマでも日本での表現と、ロシアでの表現が違うことに気づき、興味をもって鑑賞にのぞめた。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・海外に対する関心を高めることができた。 ・日本にいても、外国語が得意でなくても国際交流を行い、世界とつながることができることを実感させることができた。 ・仲間と一緒に話し合い、制作していく楽しさを知ることができた。 ・選択授業で取り組んだため、部活や生徒会の活動とは違い、普段、国際交流や共同制作と縁のなかった生徒にも積極的の取り組みをさせる機会を持たせることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の問題。海外への送料が高いため、年度当初に予算化しておく必要がある。 ・選択教科として授業の中に取り込む難しさ。単独でやっているのではないので、時間の変更等自由がきかない。毎時間の進度を工夫していく必要がある。(部活の都合で放課後残ってやることは難しい)

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
<p>学習発表会で写真と共に作品を展示した。その後、1ヶ月間多目的ホール上部に展示した。</p>	<p>国際交流をしながらの活動に対して保護者の関心も高かった。参加した生徒たちも、友人に「ロシアの人と一緒につくった。」と自慢げに話していた。</p>

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

<p>昨年は、送料の工面に苦労した。今年は、年度当初から美術関係の公費の予算にアートマイルプロジェクトを組み込むことができた。しかし、国の決定がその後なので、送料の高い国との交流では予算に不安を感じる。事前に方面により送料がどれくらいになるかの目安を示していただけるとありがたいです。</p> <p>選択美術での取り組みは、部活に比べ、時間的にも予算的にも大変制約があり、難しいことも多いが、授業でやることで、生徒たちのコミュニケーション力の向上につながり、国際交流や学習に対する意識も強くなるため、取り組み方を工夫しながら続けていきたい。</p>
--